



文化財マップ

南薫校区の

南薫校区の文化財

「南風薫る処」という優雅な意味で、地名が付けられたと伝えられる南薫校区は、明治22年(1889)、久留米市が誕生したと同時に南薫町の名称ができました。

明治42年(1909)には日吉尋常小学校から分離して、南薫尋常小学校が創立されています。当時の校区は、螢川町・寺町・通外町・南薫町・南薫西町を含むものでしたが、大正12年(1923)に櫛原村の一部、大正13年(1924)には東町・諏訪野町・野中町の一部が編入され、現在の南薫校区が成立しました。

校区内の縄文時代の遺跡は少なく、南薫西遺跡で狩りに使ったと思われる落とし穴が発見されている程度です。弥生時代になると東櫛原今寺遺跡や石丸遺跡、南薫稲荷遺跡など、校区の広い範囲に遺跡が広がります。飛鳥～平安時代には南薫西遺跡で神様の名前である「芋原」「大神」などの文字が書かれた土器が発見され、神様をお祀りしたことが窺えます。平安時代の終わり頃には、大宰府安楽寺の櫛原庄(荘園)が広がっていたと思われます。その後の江戸時代には有馬氏の城下町整備により、寺町、下級武士の宅地である鉄砲屋敷、そして町屋が通町十丁目・通外町まで広がりました。五穀神社の祭礼は、からくり興行などで賑わい、「からくり儀右衛門」こと田中久重や、久留米餅を考案した井上伝などの出身地としても知られます。

大正8年(1919)～昭和27年(1952)には三井電気軌道が校区内を走り、戦時中には憲兵隊本部が置かれる

などしましたが、現在では知る人も少なくなったようです。また、かつては五穀神社東側や校区の北側あたりには低湿地が多く、水の恵みを受けた「蓮根堀」なども見られましたが、近年の都市化により、ほとんどが消滅してしまいました。



▲弓曳き童子(久留米市指定文化財)

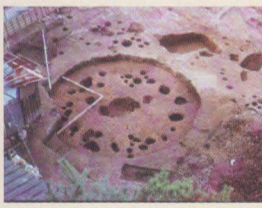
| 時代 | 西暦 | 南薫校区のできごと |
|-------|-------|------------------------------------|
| 旧石器時代 | 10000 | 南薫校区に人が生活し始める |
| 縄文時代 | 紀元前 | 東櫛原今寺遺跡に集落ができる |
| 弥生時代 | 紀元後 | 石丸・辻・南薫稲荷遺跡などに甕棺など墓地方つくれる |
| 古墳時代 | 300 | 東櫛原今寺遺跡に集落が営まれる |
| 飛鳥時代 | 600 | 筑紫大地震(678)が起きる 南薫西遺跡に集落がつくれる |
| 奈良時代 | 700 | 大宰府安楽寺に櫛原庄が寄進される |
| 平安時代 | 1200 | |
| 室町時代 | 1300 | 心永地蔵板碑がつくれる(医王寺・遍照寺) |
| 江戸時代 | 1600 | 久留米城下町(寺町・通町・通外町)が形成される |
| 明治時代 | 1800 | 井上伝、田中久重が誕生 五穀神社の石橋が架けられる |
| 大正時代 | 1900 | 筑後川改修工事完成 三井電気軌道開通(1952年、三井線廃止) |

■南薫校区の歴史年表

弥生時代の文化財

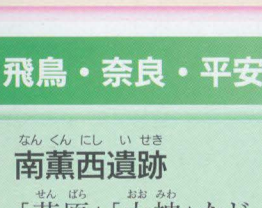
東櫛原今寺遺跡 市指定史跡

櫛原中学校周辺に広がる弥生人の集落跡です。竪穴住居などの建物、土器や石器などの生活道具が発見されています。



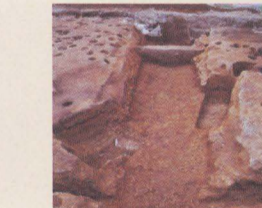
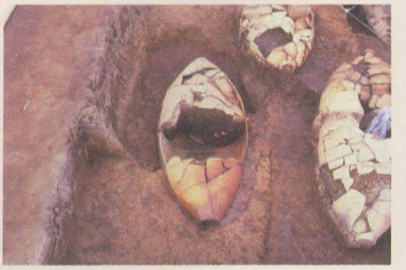
南薫稲荷遺跡

鳥類センターの西側で発見された弥生人の墓地です。発見された甕棺や石棺など97基のお墓には、13体の人骨が残っていました。



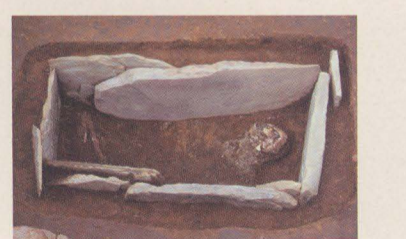
石丸遺跡

弥生人たちの墓地です。櫛原天満宮付近から150基以上の甕棺が列をなして発見され、管玉や銅矛なども出土しています。櫛原天満宮にある大石は、こうした甕棺の上に置かれていたと伝えられています。



辻遺跡

櫛原郵便局付近の高台に広がる弥生時代を中心とした集落遺跡です。



飛鳥・奈良・平安時代の文化財

南薫西遺跡

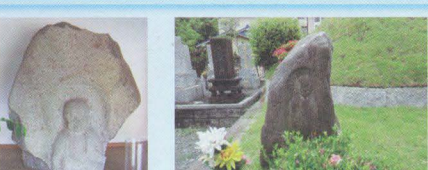
「芋原」「大神」など、文字が書かれた土器が発見されました。筑後国御井郡節原郷の中心集落と考えられています。



室町時代の文化財

医王寺(右)と遍照院の地蔵板碑 市指定有形文化財

心永年間(1394～1428)に建立された地蔵の彫像板碑です。



《文化財についてのお問い合わせ先》
久留米市 市民文化部 文化財保護課
久留米市城南町15-3(市役所12階)
電話 0942-30-9225 FAX 0942-30-9714
E-mail: bunkazai@city.kurume.fukuoka.jp
久留米市埋蔵文化財センター
久留米市諏訪野町1830-6(スーパリア久留米敷地内)
電話 0942-34-4995 FAX 0942-34-5045
<表紙>五穀神社の石橋
印刷:香和印刷株式会社
発行:久留米市
編集:市民文化部文化財保護課
南薫校区の文化財マップ
平成27年3月31日